港まちづくり協議会ニュース

第34号 （2009年3月19日発行）

第8回部会ワークショップを開催しました。

2009年3月6日（金）18：30～　名古屋港湾会館　4階第7会議室

今年度の最後となる第8回部会ワークショップでは、平成20年度のまちの縁側事業を振り返り、その中で確認された成果や前提条件を踏まえて、21年度事業計画の実施にむけたアイデア出しを行いました。今回は、その様子をご報告させていただきます。

第8回部会ワークショップ

●ねらい　：　今年度の「まちの縁側事業」を振り返り、
その成果を前提条件として踏まえ、来年度に活かそう！

●議題　：　1．本日のワークショップの趣旨と位置づけについて
2．平成20年度「まちの縁側事業」の報告
3．◇ワーク1　「平成20年度のまちの縁側事業の振り返り」
◇ワーク2　「来年度事業に向けてのアイデア出し」

●参加者　：　26名

＊「部会ワークショップ」は、協議会からの依頼を受けて事業内容を検討するための場として発足し、住民の方を中心に多くの方が参加されています。昨年の9月に第1回を開催してから、“まちの縁側事業”や“冬のイルミネーション事業”、平成21年度の事業計画などを検討してきました。

部会ワークショップで出た意見やアイデアの一部をご紹介します。

事業の企画や実施に参加した方から意見を出してもらい、主なキーワードをまとめました！

◇ワーク1：平成20年度「まちの縁側事業」の振り返り

・・・・・　良かった点・成果　・・・・・

ご参加いただいた皆さんの主なご意見	主なキーワード
・新たな出会いがあり、様々な人との意見交換の場になった ・個を大事にしつつ交流を図ることができた ・人と人の輪をつなげることの重要性を学んだ　など	**新たな出会いと交流が生まれた**
・子どもに戻ったように楽しめた ・みんなが一緒に楽しむ機会になった ・行灯づくりによってイルミネーションイベントに多くの人が参加した ・作業所の利用者がまちづくりに参加する機会になった ・協議会に親しみを感じるきっかけになった　など	**行灯づくりを通じて参加型の楽しさがわかった**
・おもしろい話が聞けた ・これからのヒントをもらえた ・自立・自主的な活動の重要性を学んだ ・イタリアのバール（軽食喫茶店）の事例がよかった　など	**ゲストトークからいい刺激をもらった**
・子育て支援の場づくりのなかで、世代間交流が起きた ・手づくりおもちゃコーナーが活気があってよかった　など	**子育て支援の場がつくれた**
・運営しているリーダーの熱い想いを聞けてよかった ・みんなで視察して共有できたので、一体感が生まれた　など	**先進事例からの学びがあった**
・他地域からも人が参加してくるようになった　など	**にぎわいの創出ができた**
・世代別、ニーズ別に企画する方向性が見えた　など	**ニーズの把握ができた**
・体験するなかで学びがあり、第一歩を踏み出せた　など	**住民参加型事業の体験となった**

成果をさらに伸ばすための主なアイデア

- 誰でも気軽に話せる場を設ける
- 行灯づくりを次へつなげる、個数を増やす
- 有識者の話を聞く機会を増やしたい
- 参加した人から呼びかけて輪を広げる
- 名古屋で活躍している人をゲストに呼ぶ
- 定期的な子育て支援の場
- 夢をかたちにする21年度にしたい
- 世代別の企画
- 小さくても定期的に続けることが大事

・・・・・ 気になった点・問題点 ・・・・・

ご参加いただいた皆さんの主なご意見	主なキーワード
・地域の広範囲からの参加者が少なかった ・若い世代の参加者が少なかった ・参加者の顔ぶれがいつも似通っている　など	**いろんな人に参加してほしかった**
・企画から実施までの時間が少なかった ・広報の時間が短く、参加者が思うように集まらない　など	**事業のスケジュールが厳しかった**
・商店街や主婦の方など、様々な人が参加できる配慮が必要 ・地域の行事などと日程が重なってしまった　など	**事業日程の決め方を考慮した方がいい**
・もっと効果的な広報の仕方を考えた方がいい　など	**PR方法の工夫が必要**
・地域の人たちの望んでいることを明確にした方がいい ・独居老人など表には見えにくい人たちへの配慮も必要　など	**ニーズに合わせた企画をたてるといい**
・作る場を細かく分けたので、盛り上がりに欠けた　など	**行灯づくりの場を盛り上げたい**
・会場が港湾会館ばっかりだった ・まちの資源や特徴をもっと生かせるはず　など	**会場がいつも同じ**

改善するための主なアイデア

- 気軽に参加できる事業をする
- じっくりと企画を立てる
- 意見・アイデアを募集する
- 世代別の部会をひらく
- ニーズの把握を丁寧にする
- わかりやすいアピールをする
- コミュニティセンター、お店、広場、街路などを活用する
- 情報発信の場とツールを増やす
- 平日開催など、ターゲットに応じた日程設定をする
- 行灯づくりを一同に会してやる

成果と課題を前提条件として、ワーク2に進みました！

浮き上がった成果と問題点を前提として、
成果アップと課題解決のためのアイデアを来年度にしっかりと活かそう！

◇ワーク2へ

◇ワーク2：来年度の「まちの縁側事業」に向けてのアイデア出し

①ワーク1で行った平成20年度事業の振り返り と ②平成21年度まちの縁側づくりの事業計画を踏まえ、来年度事業のアイデア出しを行いました。ここには、その一部をご紹介します。

テーマ	ご参加いただいた皆さんからの主なアイデア
子ども・子育て	・子ども同士の交流と、親同士の交流（料理づくりなど）がはかれること ・子育て中・後の母親の社会復帰のための文化教室　・木登りなどの外遊び ・手づくりおもちゃのある遊び場づくり　・図書館のような、本の貸し借りができる場　など
食を通じた交流	・みんなで料理づくり　・若い人も参加しやすい、食を囲みながらの気楽な交流の場　など
みなと情報	・港のガイドツアー　・まちのおもしろい人の話を聞く、ちょっとした得意技を教わる　など
エコなまちづくり	・エコな暮らしを実践するための取り組み　など
その他	・地域の音楽や芸術活動の発表　・短編映画づくり　・美容コンテストの開催 ・屋台村の定期的開催　・商店街の商品と交換できる地域通貨の発行　など

◆協議会ニュースをお読みの皆さんからも来年度の「まちの縁側事業」へのご意見・アイデアを募集！
≪締め切り：4月10日（金）≫

前提条件となる①ワーク1で行った20年度事業の振り返りと、ご参考までに下記に示しました②平成21年度まちの縁側づくりの事業計画をお読みいただき、ご意見等ございましたら、FAXまたはメールのいずれかで文書にて事務局までお送り下さい。

参考：平成21年度まちの縁側づくりの事業計画（平成21年度港まちづくり協議会事業計画から抜粋）

■事業のねらい	○2010年度ごろに、常設のまちの縁側空間のオープンを目指し、港まちらしい縁側のスタイルや活動内容、活動場所等について、今年度に引き続き検討を行う。
■事業概要	○ゲストを招いてのトークショーや先進事例を勉強する《知る》《学ぶ》を今年度予定の縁側事業『まちの縁側サーカス（仮称）』に引き続いて行う。 ○2009年度は、みんなで主体的に取り組めそうな事業を実験的に行う《体験する》《試してみる》を充実させる。 （ワークショップで出されたアイデア：「みんなで子育て交流カフェ」、「昔遊び教室」、「おさいほうの極意教室」、「健康づくり体操教室」、「地域の音楽活動の披露」など） ○港まちらしい縁側の内容と場所をみんなで検討し、合意を形成して、2010年度につなぐ。
■事業主体	○地域の方々（縁側をつくりあげるために、私ならこういうことができるという積極的な参加） ○まちづくり団体や子育て・高齢者支援団体（NPO法人など） ○縁側づくりのコーディネーター（協議会事務局、まちの縁側づくりに長けたNPO法人など）

◆今後は、お寄せいただいたご意見を参考にして、縁側事業として取り組むべきものや、港まちづくり協議会の他の事業に活用できそうなもの、今後の課題として引き続き検討すべきものなどを整理して、まちの縁側事業のアイデアを検討する予定です。

□港まちづくり協議会では、ボートピア名古屋設置に伴い競艇を施行する自治体（蒲郡市など）から名古屋市に交付される「環境整備協力費」を用いたまちづくり事業を、住民と行政との協働により検討・実施しています。協議会の委員は、西築地学区連絡協議会・築地口商店街振興組合・ポートオブナゴヤ商店街振興組合からの推薦を頂いた方々と名古屋市の職員で構成されています。

□港まちづくり協議会の会議は誰でも傍聴できます。傍聴のルール、会議の開催日や会場など詳しくは下記の協議会事務局までお問い合わせください。

＜参加申し込み・お問い合わせ先＞　**受付時間　：　平日9:00～18:00**
港まちづくり協議会事務局　〒455-0037港区名港1-14-23 コーラルまるさんビル2F　D号室
電話：052-654-8911　FAX：052-654-8912　Eメール：minato-machi@view.ocn.ne.jp
★上記の事務局に会議資料を設置し、どなたでも閲覧できるようにしています。
★港まちづくり協議会の情報はインターネットでも見ることができます。　◆URL　http://www.minato55.jp/